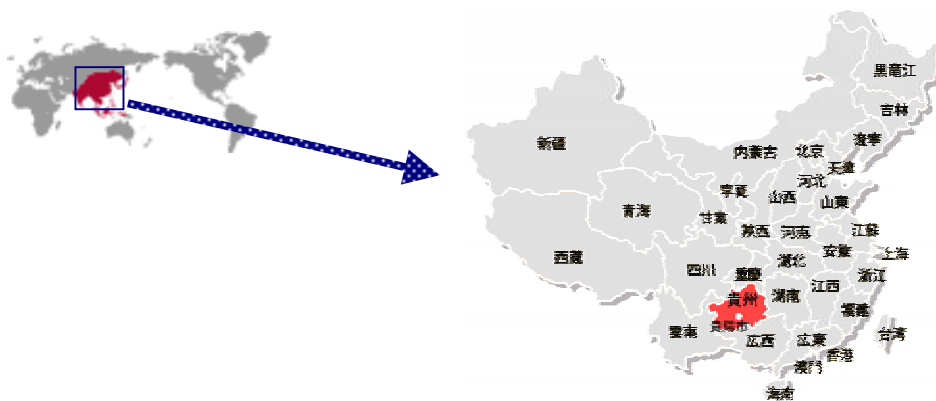




## 中国・貴陽市の紹介

都市部は近代的な高層ビルが立ち並ぶ大都会。山間部へ入ると、棚田等が美しい景観を見せる長閑な田園地帯が広がっている。

いずれも中国の伝統・文化、歴史を感じさせる名所・旧跡や建物が至る所に点在するとともに、風光明媚な自然は中国3000年の壮大な絵巻を感じさせる。



**人口** 約348万人

**面積** 8,034 km<sup>2</sup> (北海道の凡そ1/10、恵庭市294 km<sup>2</sup>の約2.7倍)

**まちの誕生** 明代の1569年に貴陽府が設けられたことに始まる。  
市名は、1941年に貴陽市が設立された時に付いた。

**地名の由来** 貴陽市の北には貴山という山があり、昔は、山の北は陰と言い、南は陽と言った。それ故、貴山の南にある都市を「貴陽」と名づけた。

### 位置図



**気候・風土** 亜熱帯モンスーン気候に属し、山間盆地にあり1年を通じて気候は温暖。年間平均気温は15.3度。月別では、一番寒い1月で4度～9度、一番暑い7月で22度～26度。気候が穏やかなことで有名。2006年6月に政府から「避暑地」として指定を受けた。

**歴史** 中国3000年の歴史を背景として、特に、明代の学者等（王陽明等）歴史上の人物を多く輩出（「甲秀楼」はその展示場）。故周恩来の生家もある。

**産業** 鉱工業（石炭、燐、ボーキサイト等）、農業（茶・タバコ・薬草等）

**自然** 「水の都」「林都」「公園の省」（8つの国立公園を有する）などとも呼ばれる自然豊かな市（貴州省）。



**食** 四川料理、茅台酒（モータイ酒）

**特産品** 竹などの木材（中国で一番森林被覆率が高く「林都」とも呼ばれている）。

**郷土文化** 苗苗芸術団

**スポーツ（中国）** 卓球、体操

## 観光（含貴州省）

### 甲秀楼（美しい楼閣）

貴陽市内を通る南明河の河岸に建つ美しい楼閣。

三層構造で高さは20m。

科学の試験において優秀な成績を修めようという意味で甲秀楼と名づけられた。



### 花溪公園（貴陽市から南17km）

川・滝・池が山の中にあり小径と橋とで散策路が繋がっている。

公園の正面に大将山がそびえ、まるで緑の屏風のようなのである。



### 黔靈山（貴陽市の西北1.5km）

標高1300m。周りに象王嶺・檀山・白象山・大羅嶺などの嶺が連なり、古木や奇岩が多い。

山頂までリフトで登れる。



### 黄果树瀑布（貴陽市から西へ160km）

白水河という川にかかる滝。

白水河は黄果树で九段の瀑布を作り最も大きい瀑布。

高さ66m、幅81m。

轟音が耳をつんざき、水しぶきが舞い上がり、光の角度により幾重にも虹がかかり、風の向きでしぶきが光の中をキラキラしながら流れて行く。



### 青岩古鎮（古い街）

明代（1366年～1644年）

石造の街並み。

（貴陽市中心部から約1時間、  
どちらかと言うとマイナーな名所）



### その他

- ・中国・故宮の木材は貴州産。
- ・通貨 1元（約15円）
- ・時差1時間（日本より遅い）

### [ 今までの主な交流経緯 ]

- ・昭和 6 1 年度 恵庭市から貴陽市に「恵庭市中国貴陽市友好訪問団」が派遣された（以降 1 3 回にわたり恵庭市長等が貴陽市を訪問）。  
また、貴陽市からは昭和 6 2 年度に「貴陽市友好訪問団」の訪問を受けた（以降 8 回にわたり貴陽市長等が来恵）。  

交流が始まってから現在まで、貴陽市から「文化友好芸術団」が来恵したり（文化交流）、医療機関等に対する視察等の訪問も受けている。  
恵庭市からは平成 5 年に「教育文化使節団」、平成 1 3 年には恵庭市長を団長とする「恵庭市訪中団」が貴陽市を訪問している。
- ・平成 1 4 年度 「貴陽中日友好桜花園」が貴陽市内公園に造成され、貴陽市と恵庭市の友好のシンボルとした。
- ・平成 1 9 年度 日中国交正常化 3 5 周年記念「日中友好都市小学生卓球交歓大会」に小学生 2 名（男女）を派遣（予定）。